

徳島大学  
国際センターニュース

<http://www.isc.tokushima-u.ac.jp/>

No.21 2014.3

## 徳島大学 留学生交流拠点整備事業 異文化キャラバン隊による地域の国際化と新たな地域の創成

平成25年6月に「留学生交流拠点整備事業」として採択された本事業は、徳島大学が中心となって地域コンソーシアムを組織し、留学生と日本人学生からなる「異文化キャラバン隊」を各地域へ派遣することにより、地域の人々との異文化交流を通じて「外国人が身近にいることが当たり前の国際社会」「文化や習慣の違いを認め合いながら暮らしている姿」を実現するものです。また、同事業では、異文化キャラバン隊が徳島市内、県西部、県南部地域へ出向き、留学生らの日本語と日本文化の学習とともに、異文化交流を通じた地域の活性化と外国人と共生できる人材の育成を目指しています。これらの活動の評価・改善によって、事業終了後はこの取組みを県外さらに四国地域の国際化の一つのモデルとして提示することが期待されています。

本事業の目的は、(1) 徳島大学が中心となって地域のコンソーシアムを組織化する、(2) 留学生と日本人学生で結成したキャラバン隊を県内各地域への派遣し、人々との異文化交流を通じた地域活性化と外国人と共生をめざす人材を育成する、(3) 地域活性化の活動に留学生を活用することにより、異なる視点からの新たな地域の魅力発見や地域資源の発掘、地域産業の振興を図る、(4) 機関・団体等からの留学生への支援活動、地域住民との交流事業、留学生の街づくり等への組織的取組みを進める、となっています。平成25年度に関しては、活動地域を徳島市内、県西部、県南部の三つに特定し、(1) 徳島市内で毎月最終日曜日に開かれている「とくしまマルシェ」への参加、美術館での鑑賞会、高校訪問などを行い、

(2)「まほろば国際プロジェクト」ホームページ、小学校・高校訪問、さらにオデオン座においての交流活動（国紹介・演劇・交流会）を実施、さらに、(3)「ちようさ」と呼ばれる神輿の担ぎ手として日和佐の祭りに参加し、2月には美波町において報告会（地域がキャンパス事業と共に）も行いました。



拠点事業ロゴ



「異文化キャラバン隊」を派遣してほしい事業を募集しております。  
希望される方は右記までお問い合わせください。

【連絡先】  
TEL: 088-656-7481 (平日 9:00~17:00)  
FAX: 088-656-7597  
E-mail: [kokukakuk@tokushima-u.ac.jp](mailto:kokukakuk@tokushima-u.ac.jp)  
URL: <http://www.isc.tokushima-u.ac.jp/caravan/>

留学生交流拠点整備事業 HP

<http://www.isc.tokushima-u.ac.jp/caravan/>

## 各種地域貢献活動 (国際交流サロン、「国際理解教育」支援、スタディーツアー)

### 国際交流サロン

留学生と地域及び日本人学生の協働の場として5月から3月まで毎月1回土曜日に実施しています。本サロンの目的は、お互いを知りあう（異文化に触れあう）ことで、文化や行事は、一緒に学ぶ協働の手段として導入しています。今年度の延べ参加人数は、340名で、留学生は167名、日本人学生及び地域からの参加者は173名でした。1月以降の活動および参加者は以下のとおりとなっています。



1月開催：華道を楽しもう

| 開催日        | 内 容                   | 留学生数 | 日本人数 | 合 計 |
|------------|-----------------------|------|------|-----|
| 1月 18日 (土) | 日本語でしゃべらんてー華道を楽しもう    | 17   | 21   | 38  |
| 2月 8日 (土)  | 日本語でしゃべらんてー世界の料理を楽しもう | 17   | 16   | 33  |
| 3月 1日 (土)  | 日本語でしゃべらんてーひな壇を飾ろう    | 6    | 18   | 24  |

### 国際理解教育支援

今年度から徳島県教育委員会の依頼により、小学校の「国際理解教育」への支援を行っています。留学生と日本人学生サポーターとで、小学校に出向き、日本語で①お国紹介、②各国の特徴ある学校文化の発表を行い、③各国語の挨拶の練習や、④各国の遊びをグループに分かれて体験する等様々な形での支援を行っています。小学生にとっては、各国について学ぶとともに日本語での発表や説明に外国語習得の刺激となり、留学生にとっては、生きた体験が異文化理解につながったようです。また留学生をサポートする形で参加する日本人学生は、その場に参加したことによって、2つの立場での異文化理解を知るとともに、留学生のサポートというボランティアの精神も得ることができたようです。



また、イングリッシュ・フェスタといった地域の学校の英語・国際理解教育の場に留学生とともに参加し、地域の児童・生徒の英語教育のサポートをし、違う文化・民族背景を持つ留学生との交流を通して国際・異文化理解が向上するように支援を行っています。

### スタディーツアー

日本国際教育支援協会の「留学生文化理解のためのスタディーツアー」事業の支援を得て、徳島の伝統的な文化と今の徳島を学ぶスタディーツアーを平成25年11月1日に開催しました。外国人留学生に加えて、地域サポーターや日本人学生サポーターが参加し、大塚食品の工場、大塚能力開発研究所、渦の道、靈山寺、藍の館を見学しました。地域・学生サポーターがグループリーダーとなり、ともに徳島の文化を発見・体験し、また異なる背景を持つ人たちとのコミュニケーションを学びました。





## 国際センター 今年&最近の活動



### 地域ソポーター、学生ソポーター

国際センターには、日本語教育を支援する徳島の住民からなる「地域ソポーター」と徳島大学の日本人学生からなる「学生ソポーター」の登録制があり、徳島大学で行われている全ての日本語授業の要請に応え、会話練習・タスク・動詞変換練習等の相手、プレゼンテーションの評価等いろいろな形でクラスに参加しています。今年度の登録ソポーター数は、地域ソポーター 46 名、学生ソポーター 36 名、計 82 名で、通常の日本語授業の支援は勿論、昨年より更に深くサマースクールに係わったことをはじめ、小学校との交流支援など活動範囲が多岐に渡っています。今年度は合計 21 の活動で、延べ参加人数は地域 53 名、学生 63 名、計 116 名となり、学生ソポーター数が地域ソポーターを上回り、活動もとても活発でした。



地域ソポーターとの会話

### 徳島大学卒業留学生同窓会（マレーシア）

平成 25 年 12 月 14 日（土）、徳島大学では 5 番目の卒業留学生同窓会となる「徳島大学卒業留学生同窓会（マレーシア）」をマレーシア、クアラルンプール市で設立し、同日、設立総会、懇談会および祝賀会を執り行いました。

設立総会では、マレーシア出身の徳島大学卒業生・修了生、元徳島大学外国人研究者など約 40 人がマレーシア各地から集まり、準備を進めてきたマレーシア同窓生代表 OB らの司会進行により役員組織や会則等を定めました。

引き続き、香川学長をはじめ本学理事と同窓会会員との懇談会が開催され、久しぶりに再会した元留学生らが、香川学長や教職員らと徳島大学で勉学に励んだ当時の懐かしい思い出や、自身の近況などについて語り合っていました。また、懇談会では、徳島大学国際センターの金副センター長から、徳島大学と同窓会との連携活動のためのいくつかの計画の説明と、中国、韓国、モンゴル、インドネシアなどにおけるこれまでの海外同窓会活動について紹介がありました。

懇談会の後、徳島大学卒業留学生同窓会（マレーシア）設立祝賀会が開催され、徳島大学卒業留学生同窓会（マレーシア）会長として選出された Azran Azhim 氏（MJIIT：マレーシア日本国際工科院上級講師）から、同窓会設立についての謝辞と本同窓会設立を通じて徳島大学とマレーシアの人的ネットワークを拡大させ、両国の発展と徳島大学との連携強化に貢献したいとの力強い抱負が述べられました。香川学長から今後の同窓会の活動に期待を込めた祝辞が述べられた後、日本式に乾杯を行い、自由懇談を楽しんでいました。マレーシア各地から集まった約 100 名の同窓生らは、久しぶりに会って旧交を温めたり、懐かしい恩師と再会して懇談しました。最後には参加者全員で「阿波踊り」を踊って交流を深めました。



香川学長からの祝辞



Azran 氏による抱負説明

## 「トビタテ！留学 JAPAN」奨学金について

文部科学省（日本学生支援機構）は、この度、日本人学生の海外留学生を促進するため、全く新しい給付型奨学金制度を開始します。このあたらしい「官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム～」奨学金は、ボランティアやインターンシップを含む「海外での体験」を重視する点でとてもユニークなものと言えます。概要は以下のとおりですので、興味がある方は是非応募してください。

### 1) 募集対象&要件

- ・大学の正規課程に在籍する院生・学部学生（日本国籍・永住権取得者も応募可）
- ・日本学生支援機構の第二種奨学金の家計基準を満たす者（成績基準は設けない予定）

### 2) 支援内容（給付型につき返済義務はなし）

- ・奨学金：12万～20万円（地域によって変動）
- ・渡航費：10万～20万円（地域によって変動）
- ・学費等：上限30万円を補助（ボランティア参加費なども対象）

### 3) 採用予定人数：300名（全国）

- ・採用された学生には、事前・事後指導の受講を義務付ける
- ・事前研修（8月ごろ）受講後から平成27年3月31日までの間に留学を開始すること
- ・留学期間は、原則1か月～1年以内（3カ月以上を推奨）

### 4) 支援メニュー

- ・新興国コース：今後成長が期待される新興国（アジアなど）への留学を支援する。特に、現地語の習得やインターンシップやボランティアといった多様な活動を重視する。
- ・世界トップレベル大学等コース：世界トップレベルの大学などで、世界から集まった優秀な学生と競争しながら、高度な教養や専門を身に着けることを目的とした留学を支援する。
- ・自然科学系、複合・融合系人材コース：理学、工学、農学、医学等の理系分野の留学を支援。高等専門学校生のグローバル化も図る。
- ・多様性人材コース：グローバルリーダーとしての素養を持つ人材、一芸に秀でた人材など、他の学生などへの留学波及効果を期待できる学生などの留学を支援する。

募集期間は、3月初め～4月初めの予定です。留学先は、教育・研究機関以外（例えば、NPO、NGOなど）でも可能です。計画の一部が調整中でも応募可能です。



<http://www.mext.go.jp/ryugaku/>

## 国際センター 最近の行事（終了したものも含む）

|        |                                  |       |  |
|--------|----------------------------------|-------|--|
| 1月 5日  | スキー旅行（若桜・氷ノ山スキー場）                | 3月 1日 | 国際交流サロン<br>「日本語でしゃべらんではひな壇を飾ろう」              |
| 1月 18日 | 国際交流サロン「日本語でしゃべらんでは華道を楽しもう」      | 3月 4日 | 日本語研修コース修了式                                  |
| 1月 28日 | 全学日本語コース（後期）終了                   | 3月 6日 | 第10回徳島大学国際展開推進シンポジウム<br>徳島大学外国人留学生の卒業・修了を祝う会 |
| 2月 8日  | 国際交流サロン「日本語でしゃべらんでは世界の料理を楽しもう」   | 3月 7日 | 留学生就職支援セミナー                                  |
| 2月 9日  | まほろば国際プロジェクト<br>(脇町劇場オデオン座等)～11日 | 3月 8日 | 短期海外語学研修(ニュージーランド)～29日                       |
| 2月 15日 | 日本留学セミナー（ネパール）参加                 | 3月 9日 | 短期海外語学研修(オーストラリア)～30日                        |

発 行 徳島大学国際センター

住 所 徳島県徳島市新蔵町2-24 徳島大学地域・国際交流プラザ（日亜会館2階）

Tel.088-656-7491 <http://www.isc.tokushima-u.ac.jp>